

平成 27 年度
島根大学大学院人文社会科学研究科修士課程
言語・社会文化専攻 言語文化コース
(第 1 次) 入学者選抜試験問題

【 文化交流論 】

(私費外国人留学生入試)

注 意

- 1 問題紙 3 ページ、解答用紙 4 枚、下書き用紙 4 枚である。
- 2 指示があってからそれぞれの枚数を確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙と下書き用紙は、持ち帰ること。

〈1〉次の文章はルース・ベネディクト『菊と刀』（1946年）を平易な英語に書き換えた文章の一部です。これを読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Ruth Benedict, *The Chrysanthemum and the Sword*, adapted by J. Ronaldson より。一部改変)

①"de-mok-ra-sie": デモクラシー ②wire rack: 細い針金で作った花を支える輪台 ③"the rust of one's body": 「身から出た錆」：自分のした悪行のために自ら受ける苦しみや災禍。

問1 下線部(a)は何を示す比喩になっていますか。必要に応じて本文から引用し、日本語で説明しなさい。（本文からの引用も日本語に訳すこと）

問2 本文中の「菊」は何の比喩として使用されていますか。必要に応じて本文から引用し、日本語で説明しなさい。（本文からの引用も日本語に訳すこと）

問3 筆者が本文で述べている「自由」と「刀」の関係について、自分の考えを日本語で述べなさい。

〈2〉次の(1)～(5)の事項から2つを選び、具体例を用いて日本語で説明しなさい。

- (1) 自文化中心主義 (ethnocentrism)
- (2) 人種と民族 (race and ethnicity)
- (3) ジェンダーと文化表象 (gender and cultural representations)
- (4) 文化とアイデンティティ (culture and identity)
- (5) 移民と文学 (immigrants and literature)